

聖書日課 『からし種』 2018.10.21～10.28

<p>21日 (日)</p> <p>ヨハネ 14章</p>	<p>「イエスは言われた。『わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない』(6節)。主が備えて下さる父の家の居場所を見出すことは難しい。しかし、私たちには、イエス・キリストという唯一の方法が与えられている。主の道、真理、命が父の家への道標。</p>
<p>22日 (月)</p> <p>ヨハネ 15章</p>	<p>「弁護士、すなわち父のもとから出る真理の霊が来るとき、その方がわたしについて証しをなさるはずである。あなたがたも、初めからわたしと一緒にいたのだから、証しをするのである」(26-27節)。主の真理を証しするために、真理の霊が、弁護士としてわたしを助けてくださることに期待して。</p>
<p>23日 (火)</p> <p>ヨハネ 16章</p>	<p>「これらのことを話したのは、あなたがたがわたしによって平和を得るためである。あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。」(33節)。主が「父のもとに行く」と弟子たちは悲しみ、世は喜ぶ。一時の悲しみの後に与えられる再会の喜びは、誰にも奪われることはなく、主の平和に満たされたものである。</p>
<p>24日 (水)</p> <p>ヨハネ 17章</p>	<p>「あなたの御言葉は真理です。わたしを世にお遣わしになったように、わたしも彼らを世に遣わしました」(17-18節)。主なる神さまから派遣され、その真理をこの世に示してくださったイエス・キリストに派遣されているわたしたち。主の真理を常に探し求め、主の業に仕える者であることを喜んで歩みます。</p>

メール配信登録メール senfkorn.obc@gmail.com 大井バプテスト教会

メール配信希望の方は名前とアドレスを明記の上、上記のアドレスまで

聖書日課 『からし種』 2018.10.21～10.28

<p>25日 (木)</p> <p>ヨハネ 18章</p>	<p>「剣をさやに納めなさい。父がお与えになった杯は、飲むべきではないか」(11節)。十字架を前にしても、主イエスは、聖書に記される福音に忠実に生き抜かれる。力で対抗したい時、福音を捻じ曲げて自分の都合の良いように読み替えることなく、目の前の出来事をキリストの福音と照らし合わせながら向き合いたい。</p>
<p>26日 (金)</p> <p>ヨハネ 19章</p>	<p>「イエスは、このぶどう酒を受け取ると、『成し遂げられた』と言い、頭を垂れて息を引き取られた」(30節)。主イエスの生涯は聖書に記されたことば通り「成し遂げられた」。キリストの命の目的は、聖書に記される神からの福音をわたしに手渡してくださるため。キリストの死がわたしを生かしてくれる恵みの源。</p>
<p>27日 (土)</p> <p>ヨハネ 20章</p>	<p>「弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち『あなたがたに平和があるように』と言われた」(19節)。主イエスの復活は、弟子たちのだれも理解できぬまま起こった。キリストの復活は、分断のあるところに「平和があるように」という宣言が込められている。</p>
<p>28日 (日)</p> <p>ヨハネ 21章</p>	<p>「イエスは言われた。『舟の右側に網を打ちなさい。そうすればとれるはずだ』」(6節)。ペトロたちは漁に出た。復活の主に出会いながらも、戸惑いと疑いをぬぐえずにいた弟子たち。夜通し働いても何の成果なく迎えた朝。岸边から聞きなれた主の声が響いた時、彼らは復活の主の愛を体験する者とされたのだった。</p>